学校番号	３０１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版「要説 世界史」　（山川出版社）						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・重要語句の暗記だけで終わるのではなく、事柄の前後関係についても理解し、歴史の大きな流れをとらえられるようにしましょう。
・予習、復習でも資料集を活用してください。地図、年表で各時代を整理することが歴史の理解にたいへん重要です。ある時代のある地域について学ぶとき、同時代の他の地域はどのような状況だったのかについても考える視点を持ってください。

２　学習の到達目標

・近現代を中心とする世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
・諸資料に親しみ歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する市民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期		導入:古代・中世の世界史		○	○		a:各地域の興隆が盛んになり、それぞれに影響を受けあいながら、一体化に向かう世界の歴史について理解を深めようとしている。 b: 一体化に向かう世界の歴史について適切に表現している。 c:必要な資料を収集し、適切に活用している。 d: 基本的な事柄を世界の一体化と関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
	結びつく世界	①アジア世界の発展	○			○		
		②イスラーム世界の再編	○		○			
		③ヨーロッパ世界の拡大		○	○			
		④ルネサンスと宗教革命		○		○		
		⑤主権国家の形成	○		○	○		
		⑥大西洋世界の展開と アジアへの進出	○			○		
二学期	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	①産業革命			○	○	a:市民の成熟によるヨーロッパ社会の変化と、それが世界に与えた影響について、理解を深めようとする b:中世からの社会のしくみが現代につながる社会へ変化していく時代の流れを適切に表現している。 c:必要な情報を収集し、適切に活用している。 d:基本的な事柄を諸革命と関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
		②アメリカ独立革命	○	○	○			
		③フランス革命とナポレオン	○		○	○		
		④ヨーロッパ市民社会の成立		○		○		
		⑤ヨーロッパ諸国の再編	○			○		
		⑥アメリカ大陸の動向	○	○				
		⑦19 世紀の欧米文化		○	○			
		⑧オスマン帝国の動揺と 民族の自覚	○			○		
		⑨南アジア・東南アジアの 植民地化		○	○			
		⑩東アジアの変容	○	○		○		
三学期	世界戦争と平和	①帝国主義の成立と 大衆社会の襲来	○		○	○	a:帝国主義の時代を経て、民族の独立と国際社会の平和を追求する現代の歴史について、理解を深めようとしている。 b:現代の国際社会の諸問題を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:必要な情報を収集し、適切に活用している。 d:基本的な事柄を二つの世界大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート
		②列強の国内情勢		○	○			
		③列強による世界分割	○		○	○		
		④諸民族の抵抗運動		○		○		
		⑤第一次世界大戦と世界	○		○	○		
		⑥第二次世界大戦と世界	○			○		
		⑦東西対立と両陣営の形成		○		○		
		⑧ヨーロッパ・日本の再興	○		○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。